

白根御勅使中愛

学校長だより⑥

令和元年9月11日(水)

南アルプス市百々1990-1

Tel 285-0330

Fax 285-0435

校長 飯野 芳重

学校長からの夏休みの宿題「頑張ってよかった体験」

白根御勅使中の校長として特に大切にしたいことは2つあります。1つは「子どもたちに、御勅使中で大切にしてもらった記憶を残すこと」、もう1つは「子どもたちに、努力する喜びを実感してもらうこと」です。

1学期の終業式で、私から子どもたちに「この夏休みに（これまで）、大変だったけど頑張ってよかったと思える体験をして、2学期に教えてください。」という宿題を出させていただきました。その中のいくつかを紹介させていただきます。

- 部活動で走る練習が多く、すごくきつくて泣きながらやったこともありました。その結果、試合では走り勝つことができました。頑張ってよかったと思いました。
- 部活動を何度もやめたいと思いましたが、あきらめずに続けてきてよかったよかったと思います。体力もメンタルも強くなり、仲間ができました。
- 3年間、つらい練習を乗り越えてきたので、関東大会で優勝することができました。
- コンクールの練習を頑張りました。結果は目指していたものに届かず、悔し涙をなげました。涙が出たのは本気で取り組んでいたからだと思います。とても貴重な体験をしました。
- 夏休み1日も部活動を休みませんでした。技術も背番号も上がりました。
- 学級旗をつくりました。デザインを考えたり、細かい作業や色ぬりなどとても大変でした。完成した時はすごく嬉しかったです。
- 家の手伝いをがんばりました。感謝されて嬉しかったです。やる気ができました。
- 職場体験で、すごく疲れましたが、ほめてもらえ、自分の将来のためにもなったのでよかったと思いました。
- 職場体験でコンビニで働いてみて、そう簡単にはお金が手に入らないことがわかりました。お金の使い方に気をつけたいと思います。
- 職場体験で、相手への対応の仕方やあいさつの大切さを学びました。
- 中間テストで思うような成績が残せなかったので、期末テストで精一杯頑張りました。成績が上がって、努力してよかったと思いました。



花壇とアサガオの緑のカーテン

- 苦手な教科を中心に勉強しました。すると苦手な教科が好きになってきました。
- 国語の文章問題が苦手でしたが、夏休みの課題の作文や読書感想文に積極的に取り組みました。すると読書や書くことが好きになり、頑張ってたよかったです。
- 夏休みの課題が多くて大変でしたが、やり切ることができてよかったです。
- 水泳教室で、一番下の級から何年もかかって一番上の級に行くことができました。
- 1日10時間×4日間の勉強をやりきることができてよかったです。
- 県立図書館で朝から夕方まで勉強しました。
- ホームステイに行きました。わからない表現は、単語をつなげたりジェスチャーを交えたりしてコミュニケーションすることができました。
- 教員としての初めての夏でした。今までは自分が頑張ればよかったのですが、今年からは生徒に頑張らせて充実感や達成感までもっていかねばなりません。一方的ではなく、生徒に主体的に考えさせ行動させることの難しさと大切さを学びました。これからの教員人生にとってとてもプラスとなる経験をしました。



この2学期の「頑張ってた体験」

- クラス・学年・全校一丸となって桃源祭を成功させたいです。終わった後に、みんなで「楽しかったね!」と言い合えるようになりたいです。
- みんなで力を合わせて最高の劇をつくりたいです。
- みんなで声を掛けあって、体育の部で総合優勝したいです。
- 桃源祭で引退になるので、悔いのない最高のステージにしたいです。
- 走ることが苦手なので、強歩大会を頑張りたいです。
- 新人戦で県大会に行けるよう、部活動を頑張りたいです。
- 行きたい高校があるので、受験勉強を頑張ります。
- 勉強と部活を両立させたいです。中間や期末で点数を上げたいです。
- 清掃とか給食当番とか、日常生活をしっかりやりたいです。



校歌1番に「御勅使が丘に 青春の 希望は踊る 友われら♪」とあります。生徒の皆さんには、一生の思い出となるような、一生の支えとなるような、青春の1ページを創り上げてほしいと思います。